

新日軽 e-システム「シェード」組立施工マニュアル

新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しい施工をしていただくため当マニュアルをお読みください。
施工完了後は、当マニュアルをお施主様にお渡しください。

注意事項

施工にあたっては次のような点に注意してください。

- ① モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれてい
ますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、
十分水洗いしたものを使用してください。
- ② モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を
流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、し
みやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ③ モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がある
のでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化
合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ④ 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等
は速やかに清掃してください。また表面にキズをつけますと腐食
しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- ⑤ アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてく
ださい。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶
縁処理をしてください。
- ⑥ 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アル
ミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完
全に養生してください。

■ 安全にお使いいただくために必ずお守りください。

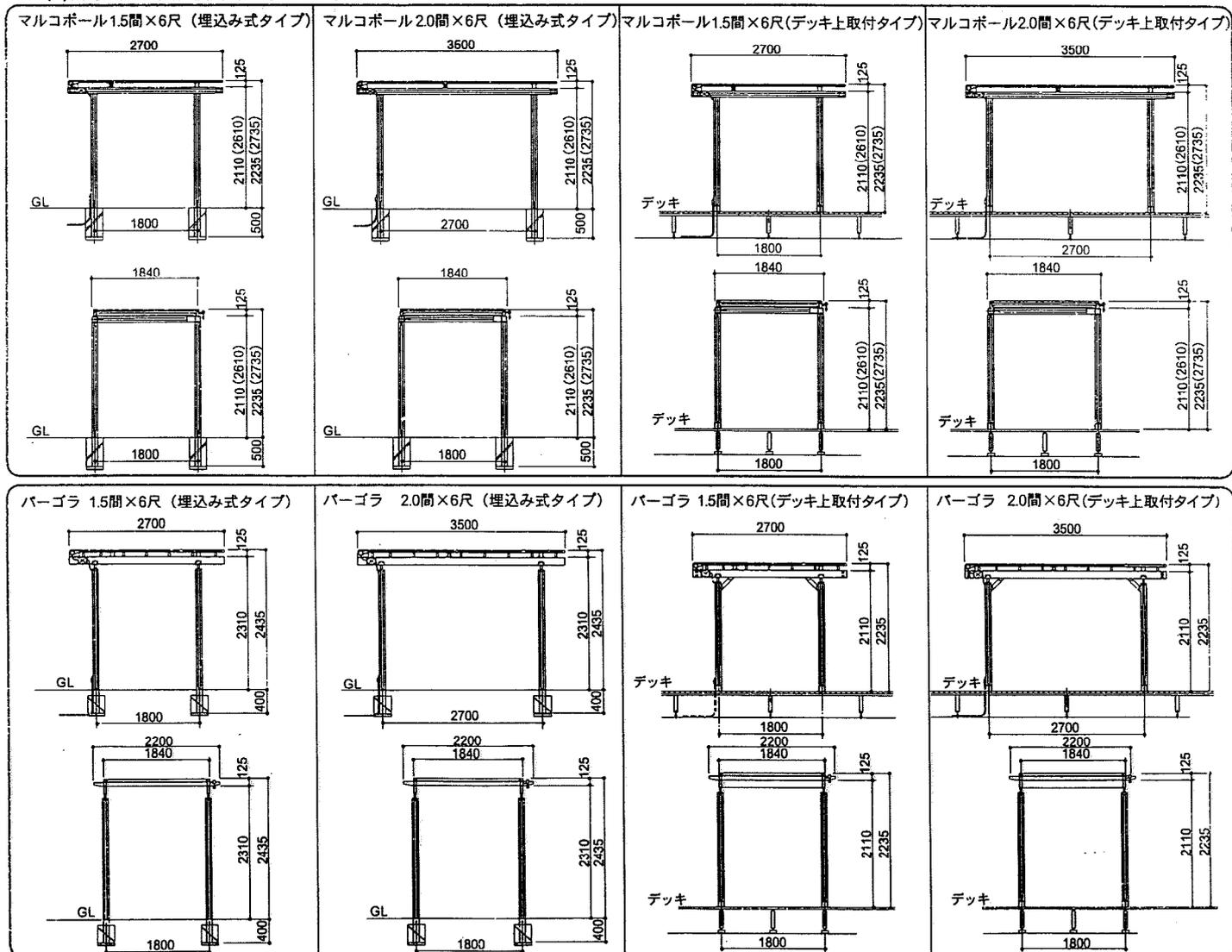
お願いしたいこと・・・このマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。
人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
 注意	この絵表示を無視して、取扱いを誤ると使用者が損害を負う 危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。



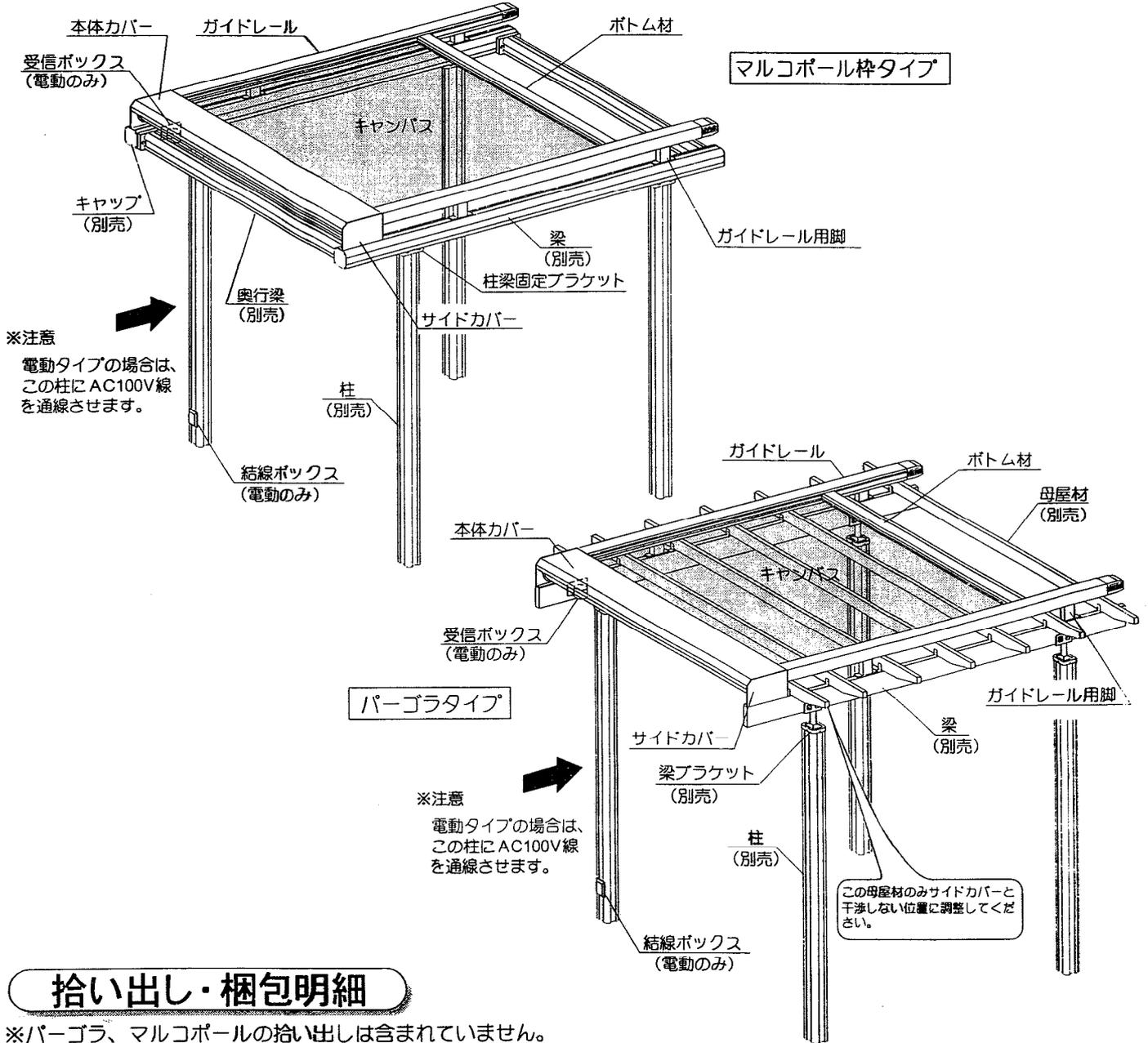
- 本体を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- ブランコ等荷重のかかるものの設置はおやめください。
- パーゴラにかかる荷重は5kgまでとし、梁=30kg、母屋=10kg以上のハンギングはおやめください。
- 強風時には、ハンギングしてるものを降ろしてください。

()内寸法は、長柱使用時の寸法です。



姿 図

※本図はマルコポール枠タイプ、パーゴラタイプとも1.5間×6尺を表しています。
 ※本セットにはマルコポール枠及びパーゴラは含まれておりません。別途拾い出しを行って
 ください。
 ※本マニュアルはマルコポール枠タイプを例にとって説明しています。eシステムパーゴラに
 取り付ける場合は 2 シェードの取付の項から作業を行なってください。



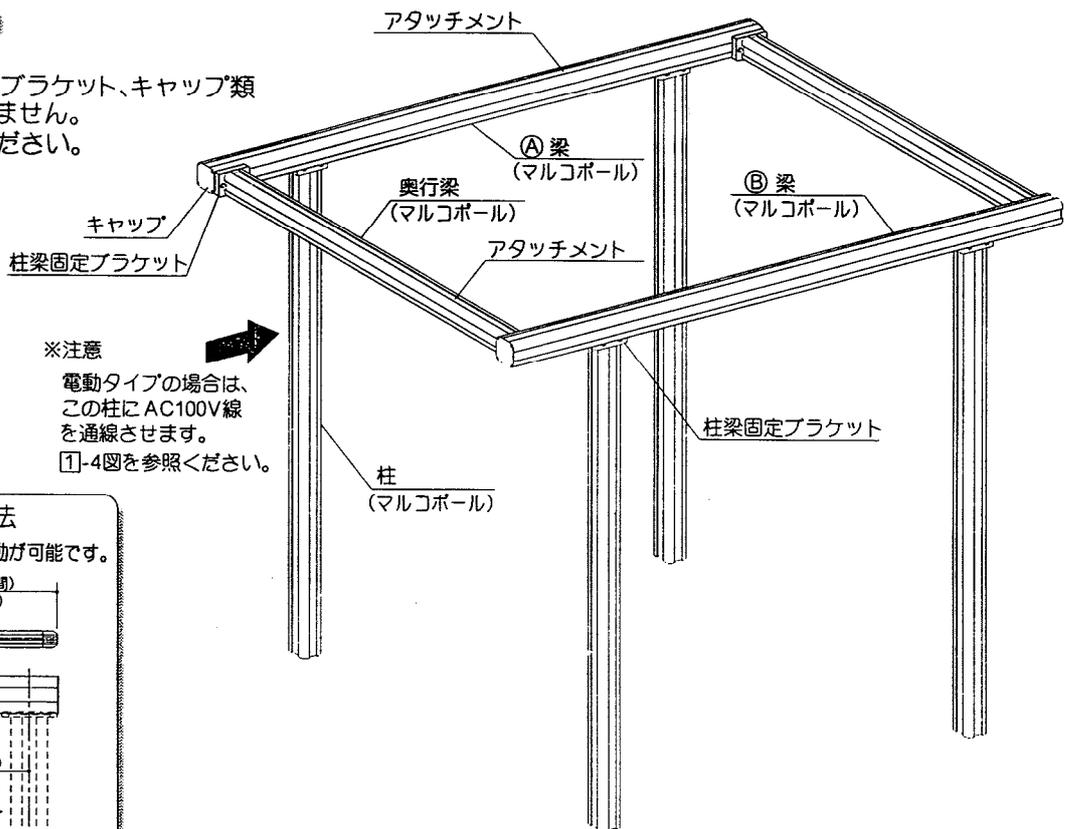
拾い出し・梱包明細

※パーゴラ、マルコポールの拾い出しは含まれていません。

製品名称	製品記号	色	1.5間×6尺 手動タイプ	1.5間×6尺 電動タイプ	2.0間×6尺 手動タイプ	2.0間×6尺 電動タイプ	梱包内容
シェード1.5間用 本体セット	SNBFA270T	ブラック	1				本体1、本体カバー1、中間パイプ1 クランク棒1、
	HNBFA270T	ホワイト					本体1、本体カバー1、中間パイプ1
	SNBFA270E	ブラック	1				本体1、本体カバー1、中間パイプ1
	HNBFA270E	ホワイト					本体1、本体カバー1、中間パイプ1
シェード2間用 本体セット	SNBFA350T	ブラック			1		本体1、本体カバー1、中間パイプ1 クランク棒1、
	HNBFA350T	ホワイト					本体1、本体カバー1、中間パイプ1
	SNBFA350E	ブラック	1				本体1、本体カバー1、中間パイプ1
	HNBFA350E	ホワイト					本体1、本体カバー1、中間パイプ1
シェード1.5間用 レールセット	SNBFB270	ブラック	1	1			ガイドレール2 (エンドキャップ付き)
	HNBFB270	ホワイト					ガイドレール2 (エンドキャップ付き)
シェード2間用 レールセット	SNBFB350	ブラック			1	1	ガイドレール2 (エンドキャップ付き)
	HNBFB350	ホワイト					ガイドレール2 (エンドキャップ付き)
手動用部品セット	SNBFCT	ブラック	1		1		サイドカバー-LR各1、レール用脚4、ビスセット (M5×25セルフドリリングビス12本、 M5×10トラスビス8本):1、ボルトセット (M6×15ボルト、ナット、ワッシャー、Sワッシャー 各8):1、金具セット (2mm用六角レンチ1、金具A,B各1、割りピン3):1 施工マニュアル1、お施主様用マニュアル1
	HNBFCCT	ホワイト					サイドカバー-LR各1、レール用脚4、ビスセット (M5×25セルフドリリングビス12本、 M5×10トラスビス8本):1、ボルトセット (M6×15ボルト、ナット、ワッシャー、Sワッシャー 各8):1、金具セット (2mm用六角レンチ1、金具A,B各1、割りピン3):1、受信機カバー1 送信機1、結線ボックス1、防水コネクタ付AC100V電源線1、グロメットセット (φ10用グロメット1、ナイロンバンド2):1、施工マニュアル1、お施主様用マニュアル1
電動用部品セット	SNBFCE	ブラック		1		1	サイドカバー-LR各1、レール用脚4、ビスセット (M5×25セルフドリリングビス12本、 M5×10トラスビス8本):1、ボルトセット (M6×15ボルト、ナット、ワッシャー、Sワッシャー 各8):1、金具セット (2mm用六角レンチ1、金具A,B各1、割りピン3):1、受信機カバー1 送信機1、結線ボックス1、防水コネクタ付AC100V電源線1、グロメットセット (φ10用グロメット1、ナイロンバンド2):1、施工マニュアル1、お施主様用マニュアル1
	HNBFCCE	ホワイト					サイドカバー-LR各1、レール用脚4、ビスセット (M5×25セルフドリリングビス12本、 M5×10トラスビス8本):1、ボルトセット (M6×15ボルト、ナット、ワッシャー、Sワッシャー 各8):1、金具セット (2mm用六角レンチ1、金具A,B各1、割りピン3):1、受信機カバー1 送信機1、結線ボックス1、防水コネクタ付AC100V電源線1、グロメットセット (φ10用グロメット1、ナイロンバンド2):1、施工マニュアル1、お施主様用マニュアル1
合計梱包数			3	3	3	3	

枠の名称

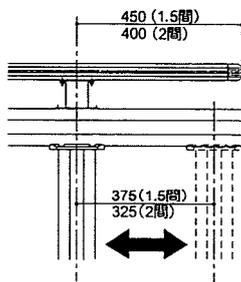
※本セットには枠材、ブラケット、キャップ類は全て含まれていません。別途拾い出してください。



※注意
電動タイプの場合は、この柱にAC100V線を通線させます。
①-4図を参照ください。

柱移動可能寸法

マルコポール枠のみ柱の移動が可能です。



マルコポールで枠組をする場合の各部材L寸法

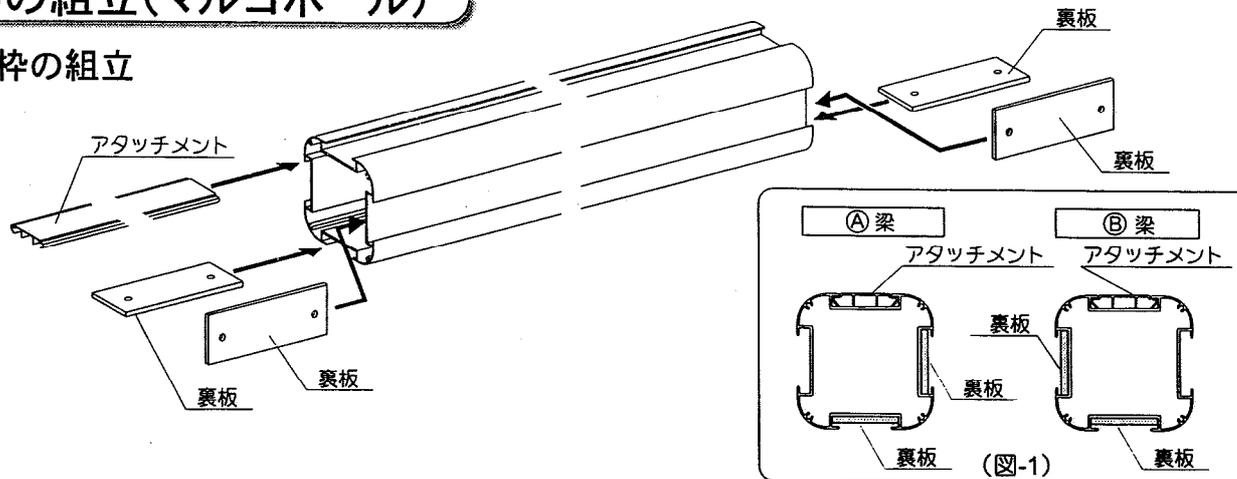
		柱L寸法	奥行梁L寸法	奥行梁用アタッチメントL寸法	梁L寸法	梁用アタッチメントL寸法
1.5間×6尺埋込タイプ	標準柱納まり	※2500 (4本)	1680 (2本)	1680 (2本)	2700 (2本)	2700 (2本)
	長柱納まり	※3000 (4本)	1680 (2本)	1680 (2本)	2700 (2本)	2700 (2本)
2.0間×6尺埋込タイプ	標準柱納まり	※2500 (4本)	1680 (2本)	1680 (2本)	※3500 (2本)	※3500 (2本)
	長柱納まり	※3000 (4本)	1680 (2本)	1680 (2本)	※3500 (2本)	※3500 (2本)
1.5間×6尺 デッキ上取付タイプ	標準柱納まり	※2500 (4本)	1680 (2本)	1680 (2本)	2700 (2本)	2700 (2本)
	長柱納まり	※2500 (4本)	1680 (2本)	1680 (2本)	2700 (2本)	2700 (2本)
2.0間×6尺 デッキ上取付タイプ	標準柱納まり	※2500 (4本)	1680 (2本)	1680 (2本)	※3500 (2本)	※3500 (2本)
	長柱納まり	※2500 (4本)	1680 (2本)	1680 (2本)	※3500 (2本)	※3500 (2本)

マルコポールで枠組をする場合の切断寸法です。必要L寸法に切断加工してから、組立を行なってください。

※印は、定尺を使用しますので、切断加工は不要です。

1 枠の組立(マルコポール)

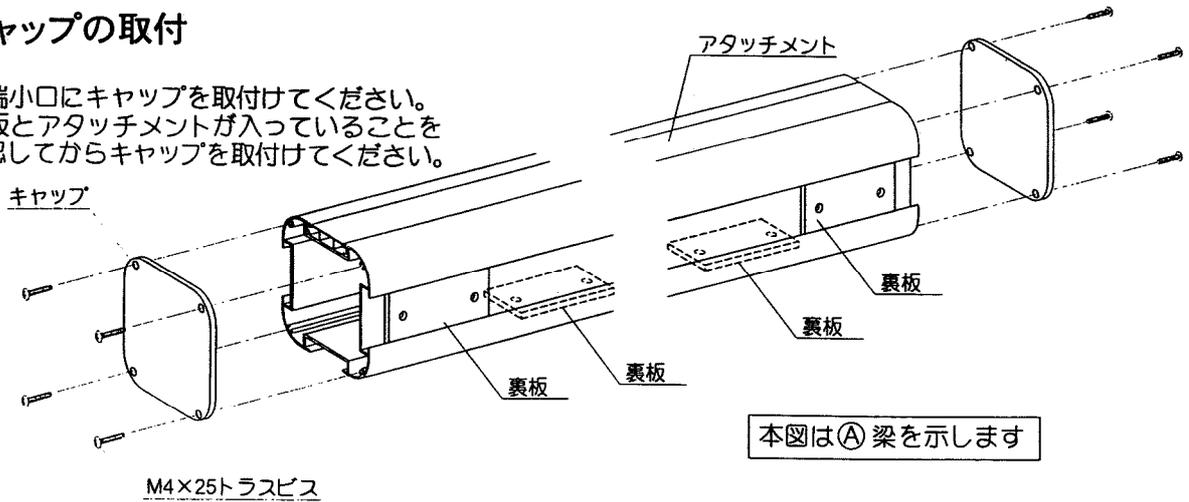
①-1 枠の組立



- 梁(マルコポール)の溝に裏板とアタッチメントをスライドして入れてください。(裏板は柱梁固定ブラケットに同梱されています。)
- 梁は2本作りますが、裏板をスライドさせて入れる際には溝の向きに注意してください。(図-1)(1本の梁に4枚の裏板が入ります。)
- アタッチメントは天面のみ梁と奥行梁に取付けてください。

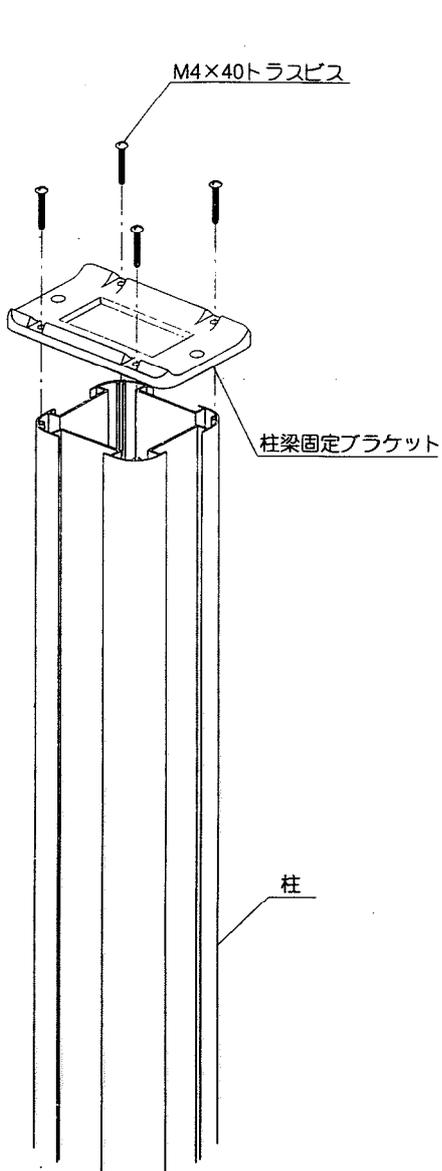
1-2 キャップの取付

- 両端小口にキャップを取付けてください。
- ※ 裏板とアタッチメントが入っていることを確認してからキャップを取付けてください。



1-3 柱梁固定ブラケットの取付

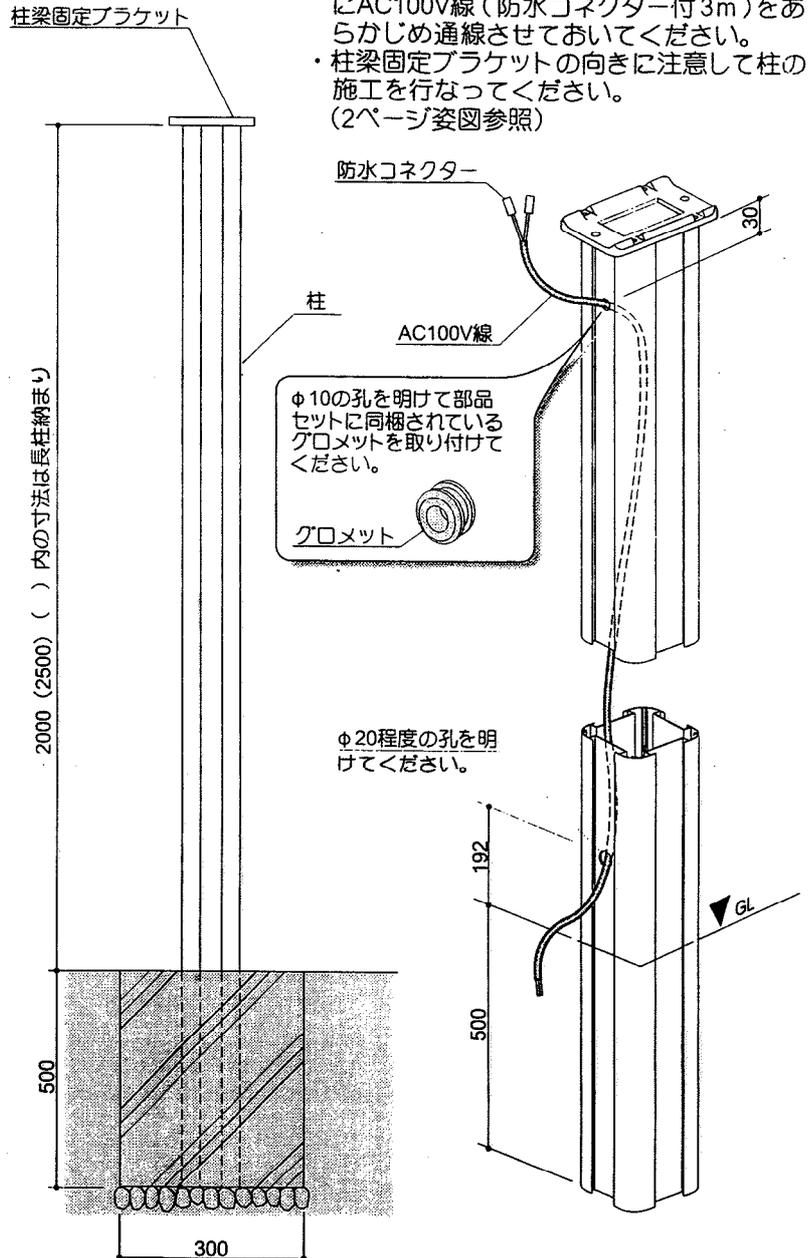
- 柱に柱梁固定ブラケットを取付けます。



1-4 基礎の施工

※ 注意

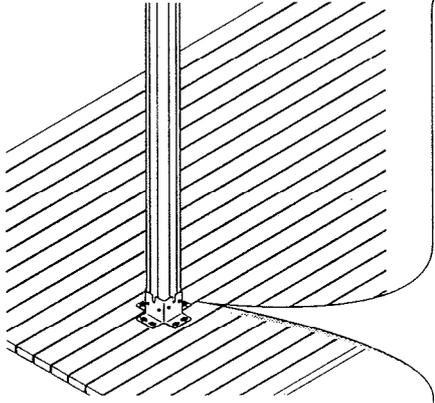
- 電動タイプの場合は、4本の柱のうち1本にAC100V線（防水コネクタ付3m）をあらかじめ通線させておいてください。
- 柱梁固定ブラケットの向きに注意して柱の施工を行なってください。（2ページ姿図参照）



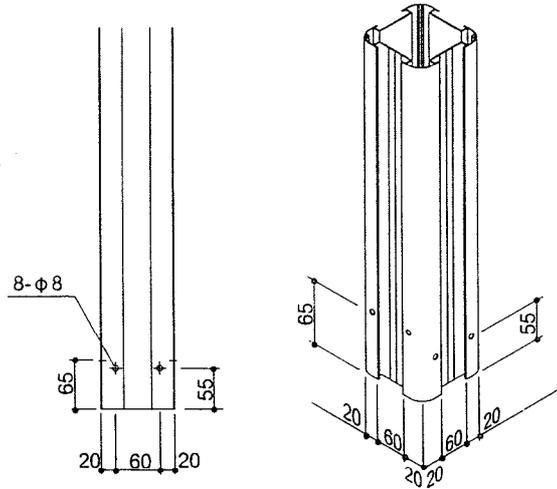
1-5 ベースアンカーの取付

※本図はデッキ上にマルコポールを取り付ける場合を表しています。

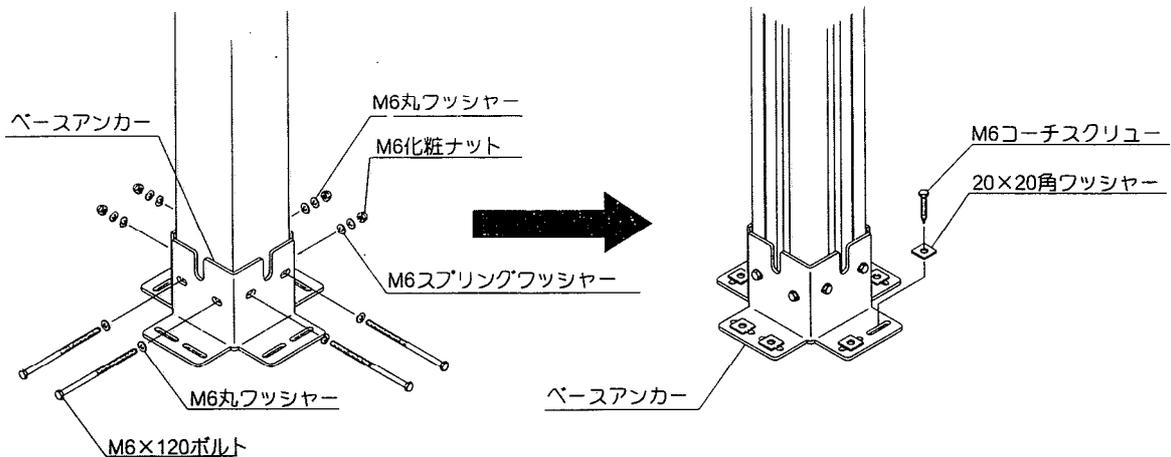
デッキ上にマルコポール枠タイプを施工する場合には、柱の下部にベースアンカー固定用の貫通孔を明ける必要があります。



柱の下部4面にベースアンカー固定用の下孔（φ8）を明けてください。



※注意
貫通ボルト用の下孔です。柱面によって寸法が違いますのでご注意ください。



ベースアンカーに同梱されているM6ボルトで柱とベースアンカーを固定してください。

ベースアンカーに同梱されているM6コーチスクリューでベースアンカーをデッキに固定してください。

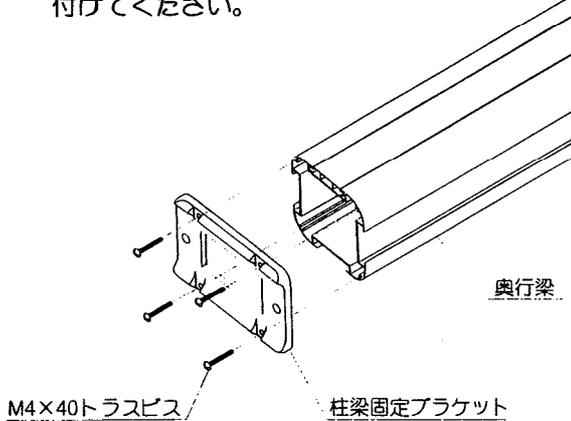
※注意
M6コーチスクリューを止める場合には、木材の割れを防ぐために必ずφ2程度の下孔をデッキに明けてから施工してください。

1-6 奥行梁の施工

- 奥行梁用にマルコポールを切断してください。

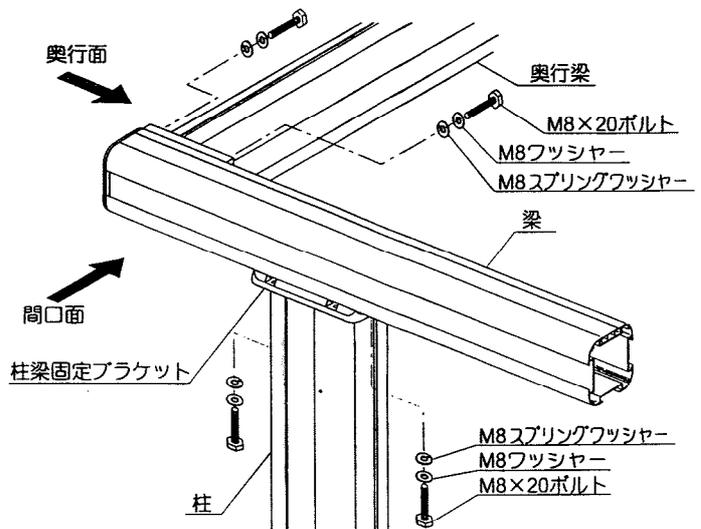
奥行梁 (15間×6尺、20間×6尺) L=1680

- 切断した奥行梁に柱梁固定ブラケットを取り付けてください。



1-7 柱～梁、梁～奥行梁の取付

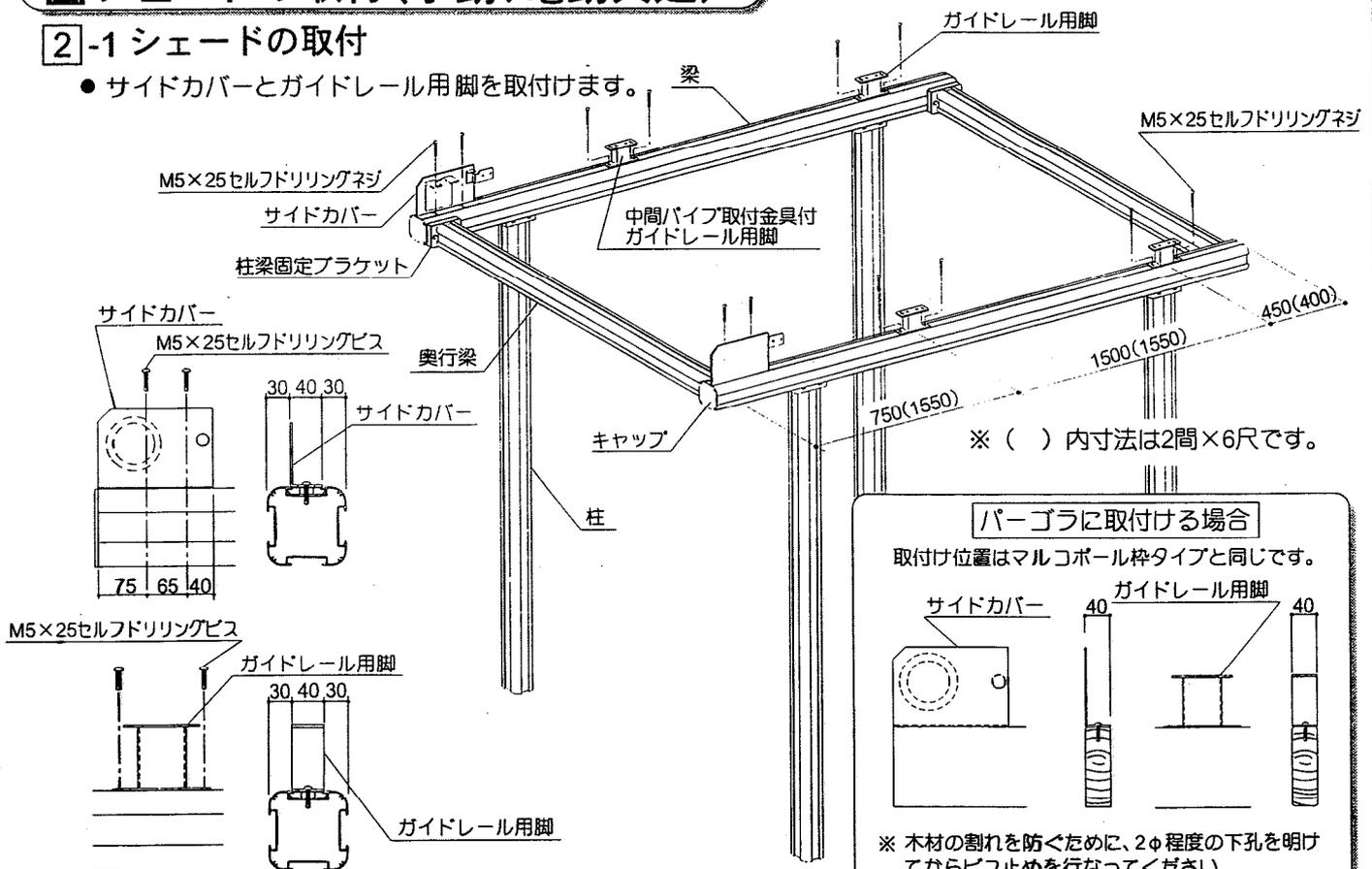
- 柱上部の柱梁固定ブラケットに、梁を固定してください。
- 梁の側面と奥行梁を固定してください。



2 シェードの取付(手動、電動共通)

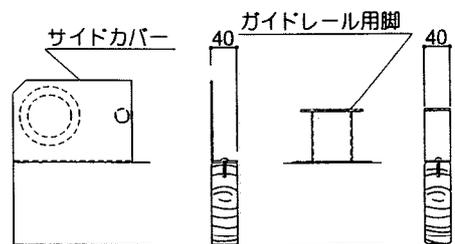
2-1 シェードの取付

- サイドカバーとガイドレール用脚を取付けます。



パーゴラに取付ける場合

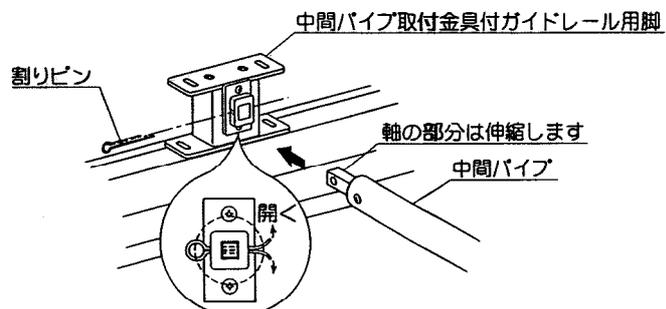
取付け位置はマルコポール枠タイプと同じです。



※ 木材の割れを防ぐために、2φ程度の下孔を明け
てからビス止めを行なってください。

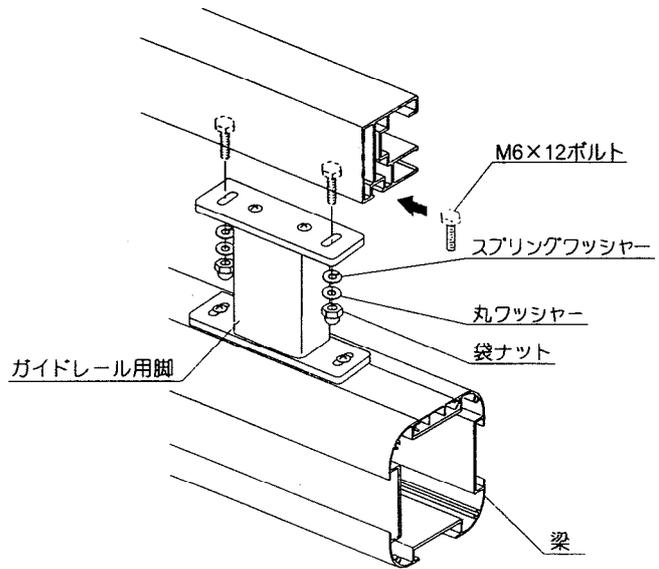
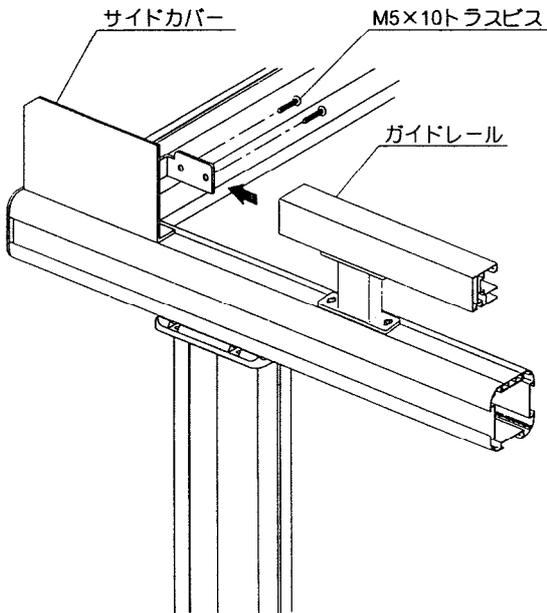
2-2 中間パイプの取付

- 中間パイプ取付金具付ガイドレール用脚に中間パイプを取り付けます。パイプ両端の軸部分を金具に差込んだ後に、割りピンで固定してください。



3 ガイドレールの取付(手動、電動共通)

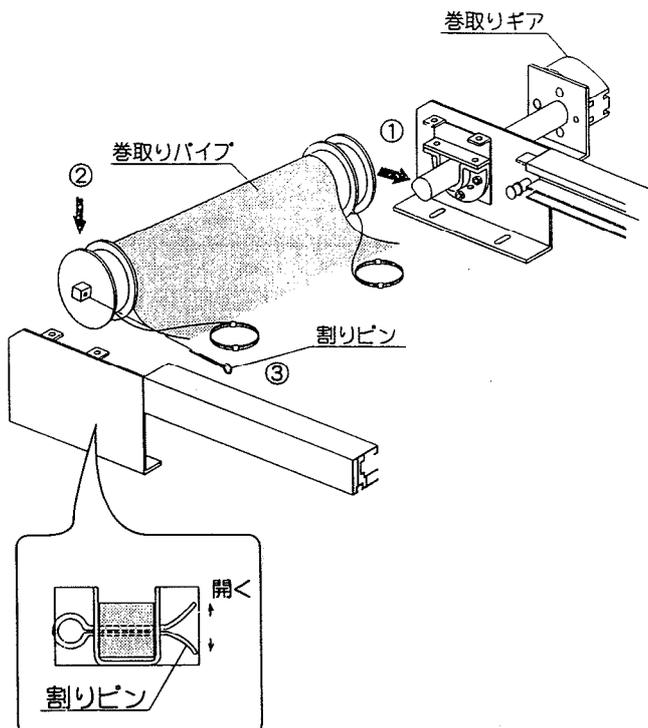
- ガイドレール下面の溝にM6×12ボルトを4本入れてください。
- サイドカバーにガイドレールをあててガイドレール用脚のナットを締めて固定します。



4 本体の取付

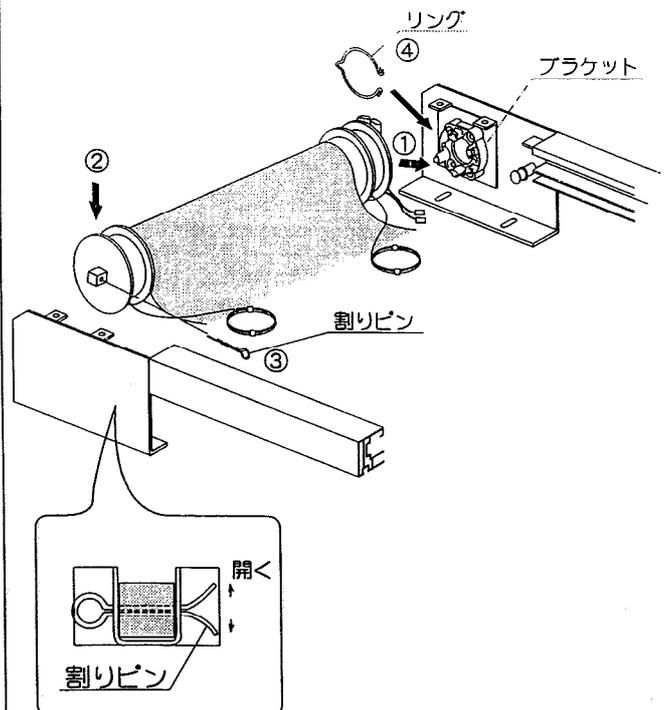
手動タイプ

- ① 巻取ギアの軸に巻取りパイプを差し込んでください。
- ② 軸受けに落とし込んでください。
- ③ 軸受けに落とし込んだら、割りピンを差し込んで固定してください。

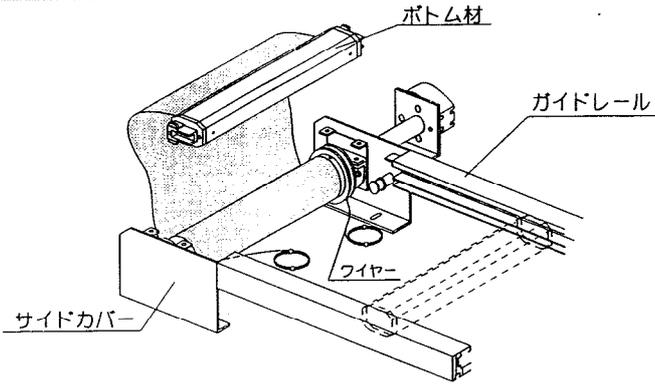


電動タイプ

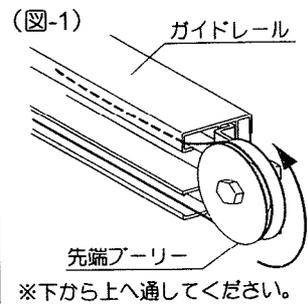
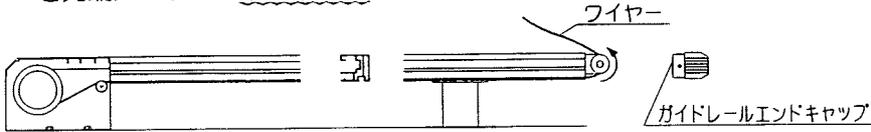
- ① モーター側をブラケットに差し込んでください。
- ② 軸受けに差し込んでください。
- ③ 軸受けに落とし込んだら、割りピンを差し込んでください。
- ④ リングをはめ込んでください。



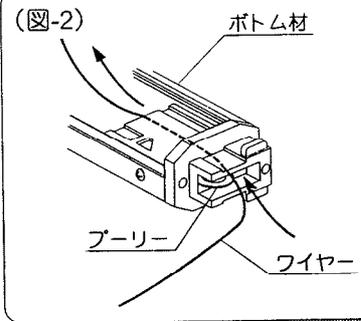
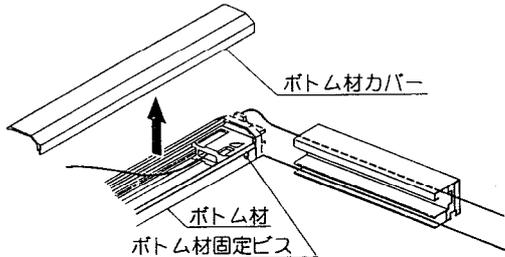
5 ワイヤのセット(手動、電動共通)



- 5-1 • ガイドレールエンドキャップをはずしてワイヤーを先端プーリーの下から上へ通してください。(図-1)

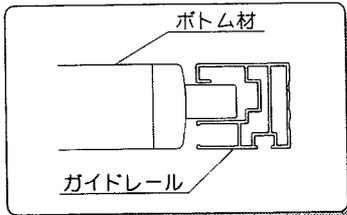


- 5-2 • ボトム材固定ビスをまわしてボトム材カバーを外してください。
• ボトム材の両サイドからワイヤーを挿入してスプリングに固定します。(図-2)



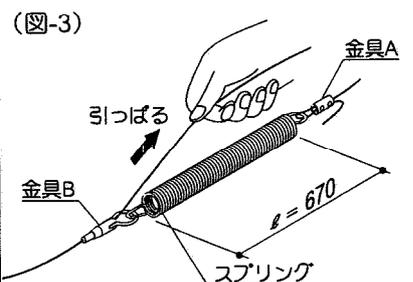
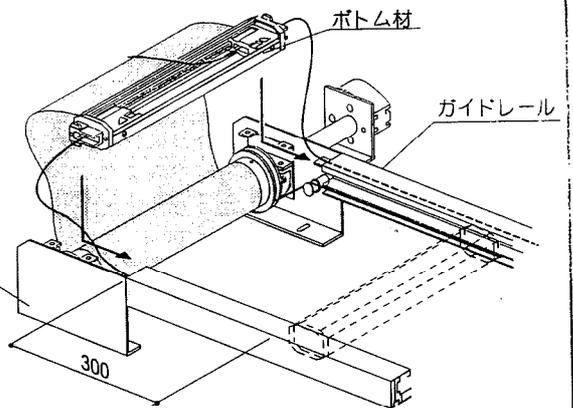
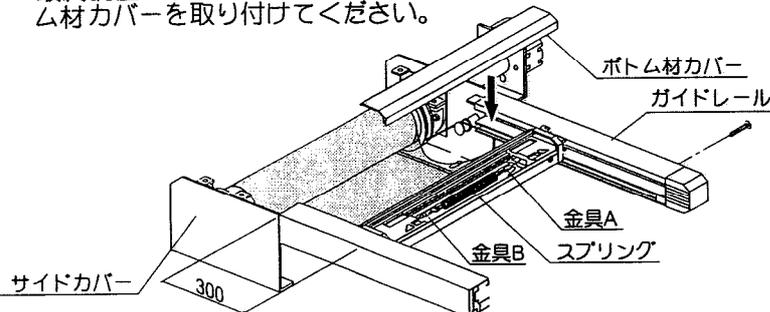
6 ボトム材のセット(手動、電動共通)

- 6-1 • ガイドレールにボトム材を差し込んでください。



ガイドレールに差し込んだボトム材は、サイドカバーから300mm位の所で止めておいてください。

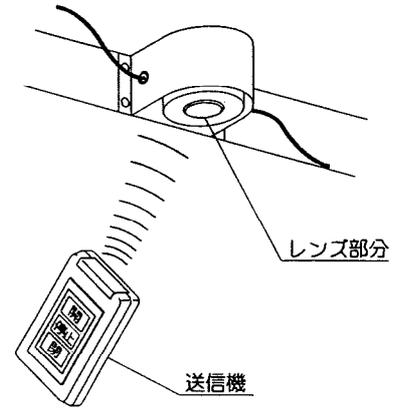
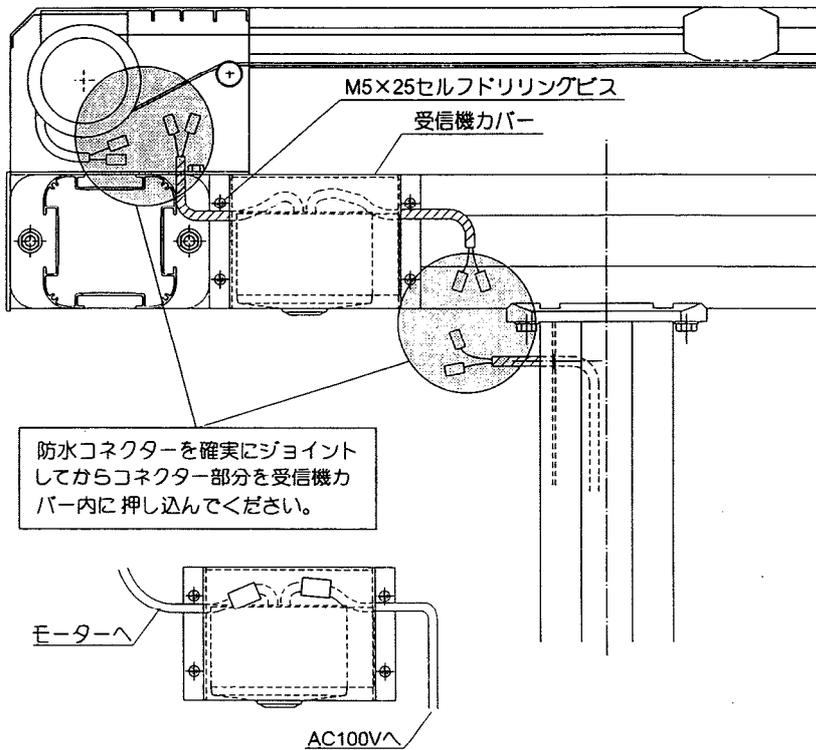
- 6-2 • スプリングが、ボトム材の中央になるようにセットしてください。
• 金具Aは付属の六角レンチ(呼径2mm)で、金具Bはワイヤーを引っ張って固定してください。
• ボトム材がレールの端から300mm位にあることを確認し、金具Bのワイヤーを引っ張ってスプリングの長さが $l = 670$ mmになるように調整してください。(図-3)
• 最終調整がすみましたら、余分なワイヤーはニッパー等で切断してボトム材カバーを取り付けてください。



7 受信機の取付け(電動のみ)

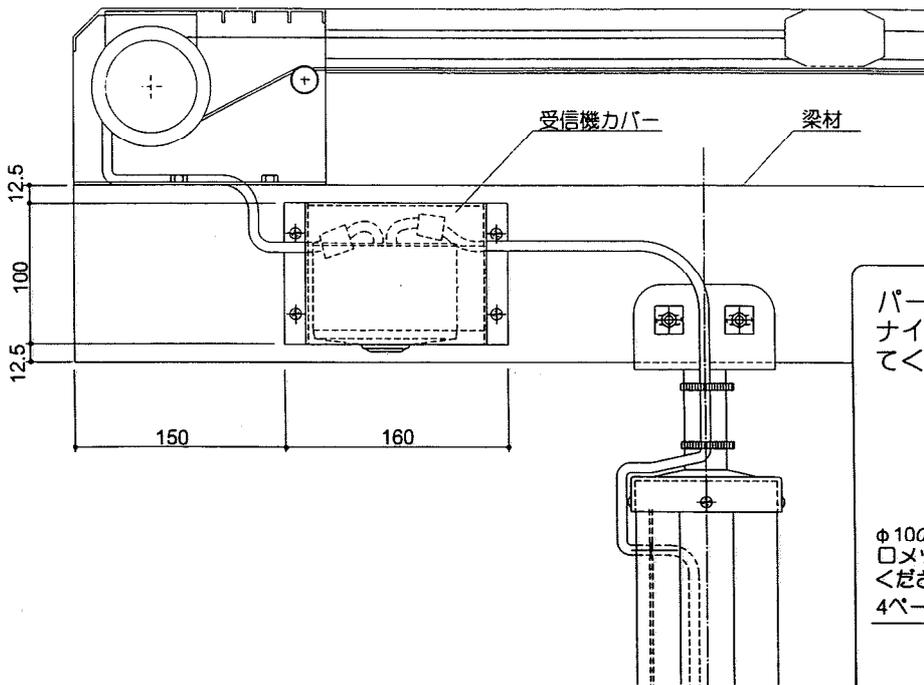
マルコポール枠タイプ

- M5×25セルフドリリングビスにて受信機のレンズ部分が下を向くように取り付けてください。



パーゴラタイプ

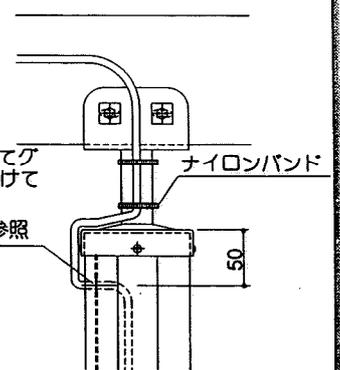
- パーゴラタイプも同様に受信機カバーを取付けてください。



パーゴラタイプの場合は、下図のようにナイロンバンドで梁ブラケットに固定してください。

φ10の孔を明けてグロメットを取付けてください。

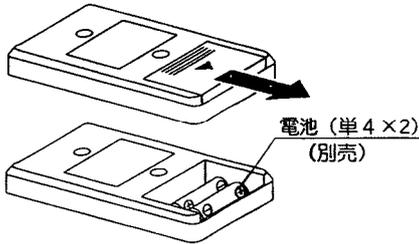
4ページ 1-4 参照



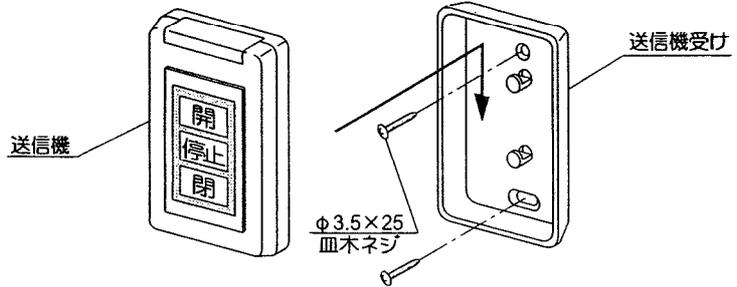
8 開閉の位置決め調整(電動のみ)

電動タイプ

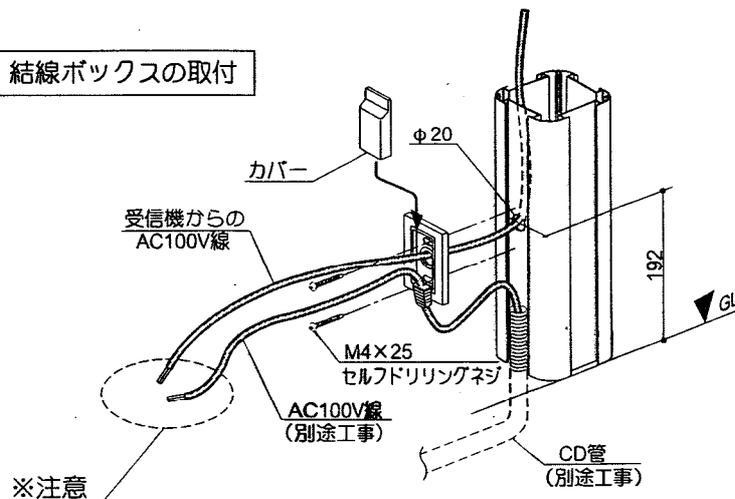
- 送信機の電池の入れ方
送信機裏面のフタを矢印方向に押し下げて電池(単4×2)(別売)を入れてください。



- 送信機受けの取り付け方



結線ボックスの取付

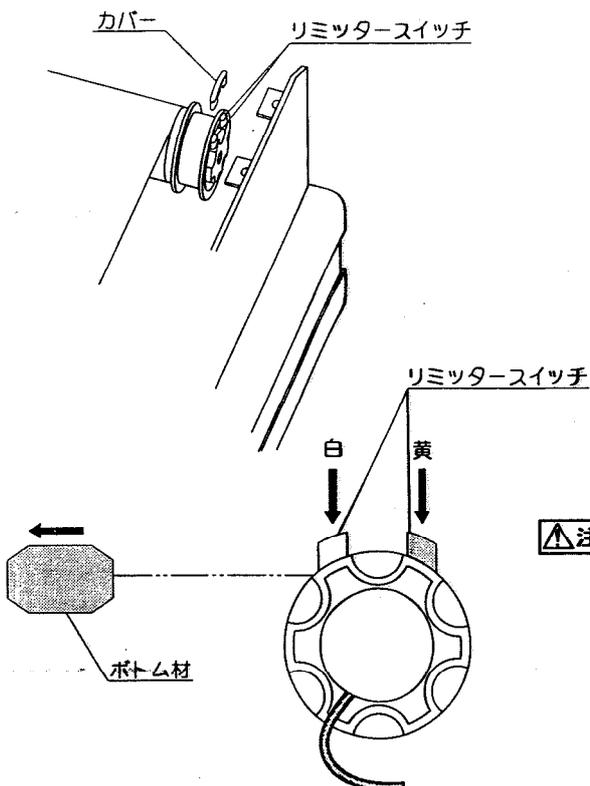


※注意

- 送信機は防水ではありません。使用後は室内または雨水のかからない場所で保管してください。
- 送信機の電池の極性(+)、(-)を間違えないように注意してください。
- 送信機の電池は含まれておりません。市販の単4乾電池を2本ご用意ください。

※注意 結線作業は、電気工事にて行なってください。

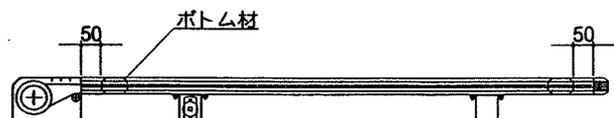
電動タイプの場合には、ボトム材のストップ位置を設定する必要があります。以下の手順でボトム材のストップ位置を設定してください。



- ① マイナスドライバー等で黄色のカバーをはずします。
- ② 黄色と白色のリミッタースイッチをマイナスドライバー等でカチツと音がするまで押し込みます。
- ③ 通電作業が終わっている事を確認した後に送信機(リモコン)の「開」ボタンを押してください。ボトム材が動きだしますので、ボトム材がガイドレールの端50mm位まできたら送信機の「停止」ボタンを押して止めてください。その位置がシールドを開いている状態の停止位置です。よろしければ②で押し込んだ白色のリミッタースイッチのみを押し戻してください。
- ④ 次に、巻き戻した時のボトム材の停止位置を設定します。送信機の「閉」ボタンを押してください。巻き取りが始まりますのでボトム材が本体カバーの50mm位まできたところで「停止」ボタンを押して止めてください。その位置がシールドを閉じている状態の停止位置です。よろしければ②で押し込んだ黄色のリミッタースイッチを押し戻してください。
- ⑤ 再度調整を行なう場合は、②→③→④の順で設定をやりなおしてください。

△注意

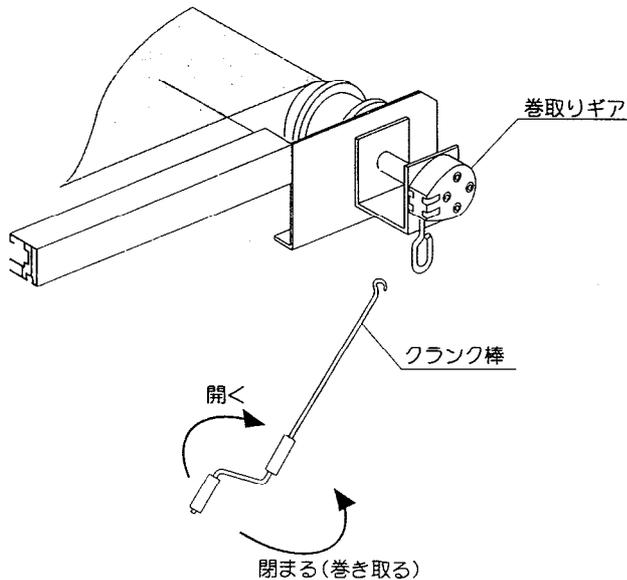
②で黄色と白色のリミッタースイッチを押し込んだ状態の時は送信機の「停止」ボタンを押さない限りモーターが回り続けてしまいます。モーターを作用させたまま放置しますと故障の原因となりますので充分ご注意ください。



9 開閉確認

手動タイプ

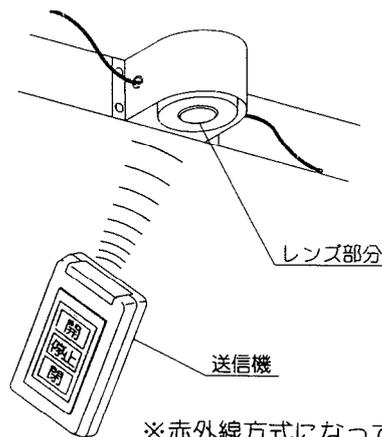
- クランク棒を巻取りギアに引っ掛けて、回すことにより開閉します。



電動タイプ

- 送信機を使って開閉操作をおこないます。

- 開 ボタンでシェードが開きます。
- 閉 ボタンでシェードを巻取ります。
- 停止 ボタンで停止します。



※赤外線方式になっておりますので、送信機をレンズ部分に向けて操作を行なってください。

10 本体カバーの取付(手動、電動共通)

- 最終調整が済んでいることを確認した後に、本体カバーを取付けて完成です。

